Panasonic®

別冊 取扱説明書

コードレスモニター子機

品番 KX-FKN530（ケイエックス エフケイエヌ）

本書の前に、**共通編**をお読みください

■安全上のご注意、ご使用前の準備、困ったときの対処方法などは「共通編」に記載していますので、必ずお読みください。

■本書は、テレビドアホンに付属の子機と増設子機の操作説明を共用しています。
子機で利用できる機能は、お使いの親機によって異なります。
本書およびお使いの親機の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■本書では、コードレスモニター子機を「子機」と表記しています。

②

もくじ

なまえや機能の名称からページを探すときは「さくいん」が便利です。（☞ 52 ページ）

ナンバー・ディスプレイ

こんなとき

通話中やモニター中の呼び出し

ファクスを受ける

F ボタン

お好み設定

音の設定

子機に名前をつける

機能を変える

必要なとき

各部のなまえとはたらき

外線
- 電話をかける、受ける（☞ 20、22 ページ）

切
- 通話を終了する
- 操作を途中でやめる
- ディスプレイが消えているときに押すと、待ち受け画面を表示する（☞ 6 ページ）

- ドアホン親機、電話（ファクス）親機、別の子機を呼び出す（☞ 19、25 ページ）
- 入れまちがえた文字や数字を消す（☞ 26 ページ）

- 外線通話中に待ってもらう（☞ 20 ページ）保留中は、相手にメロディ「曲名：愛の挨拶」が流れる
- ナンバー・ディスプレイサービスでかけてきた相手の電話番号を見る（☞ 33 ページ）

充電ランプ
- 充電中に点灯

受話口

液晶ディスプレイ
（☞ 6 ページ）

（☞ 右ページ）

トーンボタン
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（☞ 20 ページ）

ジョイスティック
（☞ 右ページ）

シャープボタン

- キャッチホンを受ける（☞ 20、22 ページ）
- 電気錠などの機能を登録して使う（☞ 41 ページ）

- 自分の声を変える（☞ 42 ページ）
- 外線通話中に、自分の声が相手に聞こえないようにする（ミュート ☞ 21 ページ）

スピーカーホン
- スピーカーホンでの通話と受話口での通話を切り替える（☞ 8、21 ページ）

送話口
- 話すとき、手でふさがないでください

アンテナ部
- 使用中、手でおおわないでください（電波の状態が悪くなります）

スピーカー
- 呼出音が鳴ったり、スピーカーホン を使用中に相手の声が聞こえる

充電台

電池カバー
- 電池パックを交換するときに開ける

ボイスセレクトボタン
- 受話音質を変える（☞ 42 ページ）

音量

- 音量を大きくする（☞ 43 ページ）
- 音量を小さくする（☞ 43 ページ）

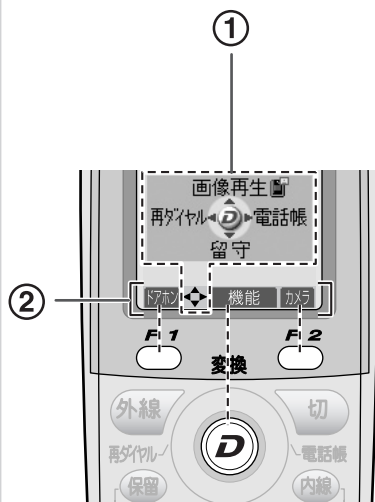
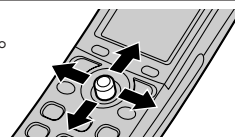
充電端子（金属部分）

充電端子（金属部分）

ジョイスティック(Ⓓ)、F1 F2 の使いかた

画面に表示された機能を操作したり、画面上の項目を選択するときに使います。

- 本書では各ボタンの押しかたを、画面表示に合わせて、それぞれ下記のようなボタンイラストで表しています。

（例：待ち受け画面）

① Ⓓ を上下左右に押して操作します。

Ⓓ↑	（画像再生）	録画した画像を再生する（☞ 16 ページ）
Ⓓ→	（電話帳）	電話帳を使う（☞ 21、28 ページ）
Ⓓ↓	（留守）	留守電の操作をする（☞ 31 ページ）
←Ⓓ	（再ダイヤル）	同じ相手にもう一度電話をかける（☞ 21 ページ）
↕Ⓓ ↔Ⓓ		項目の選択などに使う

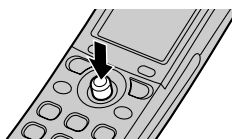
- ✥ は、操作中に使えるジョイスティックの方向を表しています。

（例）▲▼　上または下が使える

◀▶　左または右が使える

② F1、Ⓓ、F2 を押して操作します。

F1	（ドアホン）	外の様子を確認する（ドアホンモニター ☞ 11 ページ）
Ⓓ	（機能）	機能設定画面を表示する（☞ 47ページ）
F2	（カメラ）	カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター ☞ 12 ページ）

この場合は、下記のようにボタン中央を押してください。

- ドアホン、機能、カメラ の表示は、操作する場面によって変わります。
- カメラ は、ドアホン親機に、別売のカメラを増設したときのみ操作できます。

各部のなまえとはたらき（つづき）

液晶ディスプレイ（モニター画面）

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

● 待ち受け中はディスプレイが消えて何も見えなくなりますが、［切］を押すと表示します。

〈待ち受け画面〉

① 電池残量のめやすを表示する

② 着信中、通話中、モニター中のドアホンやカメラ（別売）を表示する
画像再生中は、撮影したドアホンやカメラを表示する

③ ドアホンやカメラ（別売）との通話中やモニター中、またはドアホン室内通話中に、呼び出してきた機器を表示する

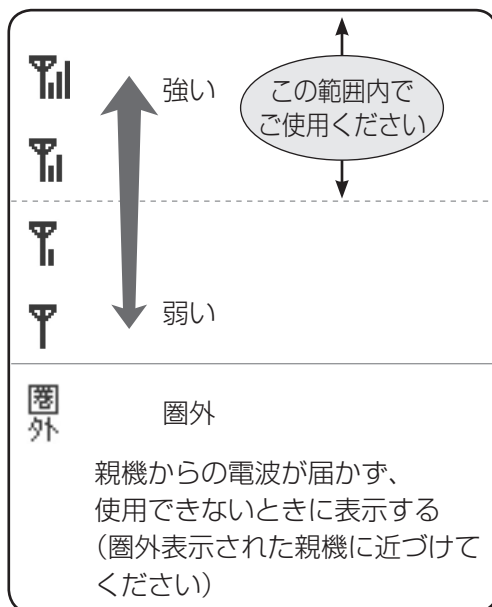
④ 電気錠やエアコンなどの機器をドアホン親機に接続してご使用の場合、電気錠が施錠、または機器が ON の状態のときに表示する（☞ 41 ページ）

⑤ ボイスチェンジ中に表示する（☞ 42 ページ）

ミュート中に表示する（☞ 21 ページ）

⑥ 電波の状態を表示する

ドアホン親機からの電波の状態

電話（ファクス）親機からの電波の状態

⑦ ご使用の子機の番号を表示する

ドアホン親機に対する子機番号

電話（ファクス）親機に対する子機番号

⑧ 機能設定で登録した「子機の名前」を表示する（☞ 46 ページ）

⑨ 待ち受け中にジョイスティックで操作できる機能を表示する（☞ 5 ページ）

⑩ 電話（外線）の呼出音量を「切」に設定中に表示する

ドアホンからの呼出音量を「切」に設定中に表示する

カメラ（別売）からの呼出音量を「切」に設定中に表示する

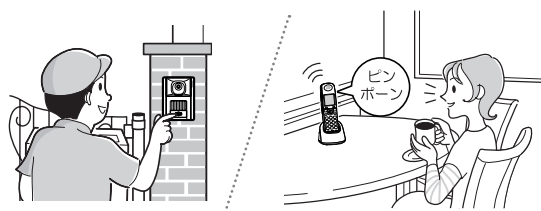
⑪ F1、F2、ジョイスティックで操作できる機能などを表示する（☞ 5 ページ）

⑫ ドアホンの未再生画像があるときに表示する

カメラ（別売）の未再生画像があるときに表示する

モニター画面の映像表示について

ドアホンやカメラ（別売）からの映像は、約 3 秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

呼び出しに応答する

1 呼出音が鳴り、ドアホンの映像が映ったら、

D（ドアホン通話）を押す

● スピーカーホン が点灯し、スピーカーホン通話になる

2 話す

約 50 cm 以内！

画面を見ながら
相手と交互に話す

■ 耳に当てて話すには

➔ スピーカーホン を押す

3 終わったら、

切 を押す

通話中はこんなことができます

■ 画面の明るさを変える

➔ ◀D▶ を押す

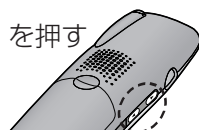
■ 映像を録画する

➔ F1（保存）を押す（☞ 15 ページ）

■ 映像を拡大表示する

➔ # を押す（☞ 右ページ）

■ 受話音（スピーカー音）の大きさを変える

➔ 側面の 音量 ▲ または ▼ を押す

■ 自分の声を変える（ボイスチェンジ）

➔ ボイスチェンジ を押す（☞ 42 ページ）

お知らせ

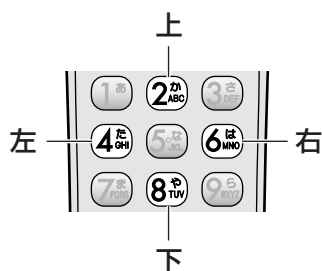
- 呼び出しは約 30 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- 着信時の相手の映像が自動で録画されます。（☞ 14 ページ）
- 呼出音の種類や音量は、変更できます。（☞ 43、45 ページ）
- **夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。**
- **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 35 ～ 39 ページ）**
- 電子レンジや無線 LAN 機器などが動作すると、その電波の影響を受け、映像が乱れることがあります。（☞ 共通編「故障かなと思ったとき」）

便利な機能（画像の拡大表示）

表示中の映像(画像)を、1.5 倍、2.0 倍に拡大表示できます。

■ **拡大するとき**
➔ # を押す

■ **縮小するとき**（拡大表示中のみ）
➔ ＊ を押す

■ **拡大表示中に画面を動かすには**

● 各ボタンを押すごとに画面が上下左右に動く
● 標準表示中は、左右にのみ、少しだけ動かせる

お知らせ

● 拡大表示では、映像を引き伸ばして表示するため、画質が低下します。
● 拡大表示中に F1（保存）を押した場合でも、保存される画像は標準の大きさです。

通話を転送する

ドアホン親機、またはドアホン機能が使える別の子機との間で、ドアホン通話を転送できます。

● 電話（ファクス）親機や電話専用子機に、ドアホン通話を転送することはできません。

子機から転送するとき

1 ドアホン通話中に、

(内線) を押す

ドアホン1転送中
親機呼出中

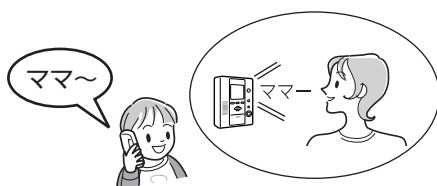
■ **子機が 2 台以上のとき**

続けて、転送先の室内番号を押す

ドアホン室内呼
室内番号?

- ドアホン親機 (0)
- 子機 (1) 〜 (4)
- すべての子機とドアホン親機 (＊)

● ドアホンの映像が消え、画面下部の 転送解除 が点滅

2 **相手に呼びかける**

3 相手が出たら、

通話を転送することを伝え、

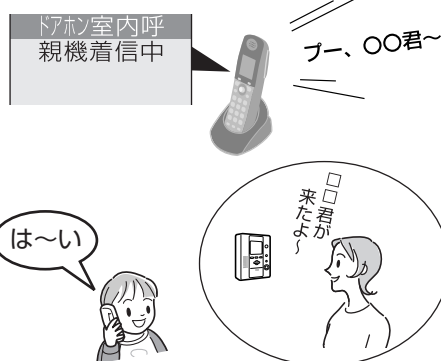
(切) を押す

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

子機で受けるとき

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

(内線) を押し、室内の相手と話す

〈例：ドアホン親機からの呼び出し〉

● 室内の相手が通話を切ると、ドアホンの映像が映り、(スピーカーホン) が点灯（スピーカーホン通話になる）

2 **画面を見ながら、ドアホン側の相手と話す**

3 終わったら、

(切) を押す

お知らせ

● 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

● 転送先の相手が出ないときや、転送先の相手と通話中に、ドアホンとの通話に戻るには

➔ (D)（転送解除）を押す

外の様子を確認する（ドアホンモニター）

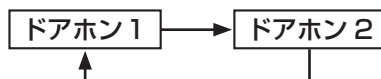
1 F1（ドアホン）を押す

● 映像が映り、スピーカーから周囲の音が聞こえる
（こちらの声はドアホン側には聞こえません）

■ドアホン側の相手と話すには

➔ D（ドアホン通話）を押す

● スピーカーホン が点灯し、スピーカーホン通話になる

● ドアホンが 2 台あるときは、F2（ドアホン）を押すごとに映像が切り替わる

2 終わったら、

切 を押す

モニター中や通話中はこんなことができます

■ 画面の明るさを変える

➔ ◀D▶ を押す

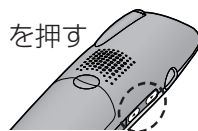
■ 映像を録画する

➔ F1（保存）を押す（☞ 15 ページ）

■ 映像を拡大表示する

➔ # を押す（☞ 9 ページ）

■ 受話音（スピーカー音）の大きさを変える

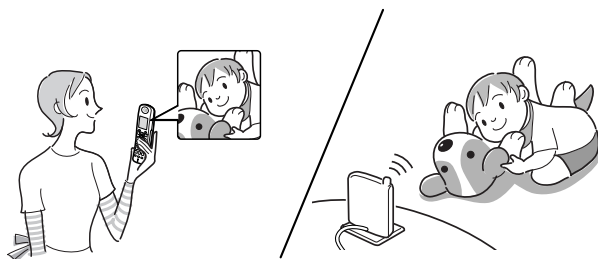
➔ 側面の 音量 ▲ または ▼ を押す

■ 自分の声を変える（ボイスチェンジ）

➔ ボイスチェンジ を押す（☞ 42 ページ）

お知らせ

● 夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。

● モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 35 ～ 39 ページ）

カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター）

1 F2（カメラ）を押す

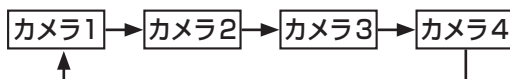
- 映像が映り、スピーカーから周囲の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

■ カメラ側の相手と話すには

➔ D（カメラ通話）を押す

- スピーカーホンが点灯し、スピーカーホン通話になる

- カメラが 2 台以上あるときは、F2（カメラ）を押すごとに映像が切り替わる

（例：カメラが 4 台の場合）

カメラ1 → カメラ2 → カメラ3 → カメラ4 →（カメラ1へ戻る）

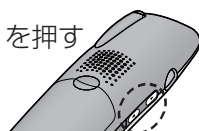
2 終わったら、切を押す

モニター中や通話中はこんなことができます

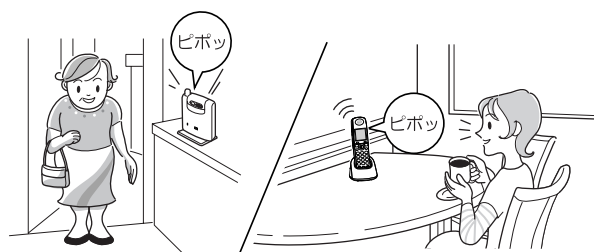
■ 画面の明るさを変える
➔ ◀D▶ を押す

■ 映像を録画する
➔ F1（保存）を押す（☞ 15 ページ）

■ 映像を拡大表示する
➔ # を押す（☞ 9 ページ）

■ 受話音（スピーカー音）の大きさを変える
➔ 側面の 音量 ▲ または ▼ を押す

■ 自分の声を変える（ボイスチェンジ）
➔ ボイスチェンジ を押す（☞ 42 ページ）

呼び出しに応答する

人感センサーが反応すると、
呼出音と映像でお知らせします。
必要に応じて応答してください。

1 呼出音が鳴り、カメラの映像が映ったら
F2（カメラ）を押す

● カメラ側の音がスピーカーから聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

■ カメラ側の相手と話すには

➔ D（カメラ通話）を押す

● スピーカーホン が点灯し、スピーカーホン通話になる

2 終わったら、
切 を押す

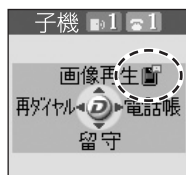
お知らせ

- センサー反応時の呼び出しは約 30 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- センサー反応時の映像は、自動で録画されます。（☞ 14 ページ）
- 呼出音の種類や音量は、変更できます。（☞ 43、45 ページ）
- **カメラの画質はドアホンよりも多少劣ります。また、下記のような場合があります。**
  - 静止画のため、動いている人がぶれる
  - 逆光のとき、人の顔が暗くなる
  - 蛍光灯を映すと、周りがかすんだようになる
  - 色合いが、実際の色と異なる
- カメラ側から話しかけるときは、カメラのマイクに向かって**約 50 cm 以内**で話してください。
- **モニター中や通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 35 〜 39 ページ）**

録画する

自動録画

ドアホンやカメラ（別売）から呼び出しがあると、自動で録画し、ドアホン親機に保存します。

● 留守などで応答しなかったときも録画します。
このときに録画された画像は未再生画像としてドアホン親機に保存され、子機では、下記の画面表示でお知らせします。

● ドアホン室内通話中やドアホン（カメラ）モニター中の呼び出しの場合は、自動録画されません。
ただし、呼び出しに応答すると、応答してから表示される映像を下記のように録画します。
- ドアホンのとき ：1 枚または 4 枚録画（枚数は設定によります）
- カメラのとき　 ：4 枚録画（1 枚目は常に人感センサー反応時の映像です）

● その他、自動録画機能の詳細はドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

手動録画

着信中、通話中、モニター中の映像を、必要に応じて録画できます。

● 録画した画像はドアホン親機に保存されます。

1 映像を録画(保存)したいときに、

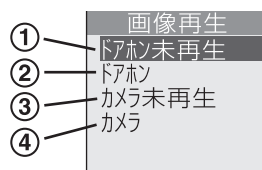
F1 (保存) を押す

お知らせ

● F1 (保存) を押してから録画されるまで時間差が生じます。
このため、F1 (保存) を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

再生する

ドアホン親機に保存された画像を子機で再生できます。

1 (画像再生)を押し、で再生する項目を選ぶ

① 応答しなかったドアホン画像
② すべてのドアホン画像
③ 応答しなかったカメラ画像
④ すべてのカメラ画像

● 画像がない項目は、グレー表示で選べない

2 (決定)を押し、で画像を再生する

● を押すごとに、新しい順に再生
● または を押し続けると早送り／早戻し（指を離すと画像を表示）
● 画面表示の見かた（☞ 右ページ）

3 終わったら、

を押す

再生中はこんなことができます

■ **画面の明るさを変える**
➔ を押す

■ **画像を拡大表示する**
➔ (#) を押す（☞ 9 ページ）

■ **画像を保護する**
➔ (保護設定) を押す（☞ 18 ページ）

■ **画像を消去する**
➔ 内線 クリアー を押し、「消去しますか」が出たら F1 (はい) を押す（☞ 18 ページ）

■ ドアホン画像の再生画面

「ドアホン録画数」の設定（☞ ドアホン親機の取扱説明書）	
「1 枚」：お買い上げ時	「4 枚」
撮影した機器（☞ 6 ページ） 録画日時 録画番号（1 ～ 100） ●：未再生画像 O▀：保護画像	1 枚目　2 枚目　3 枚目　4 枚目 4 枚で 1 セット 1 セットの中の何枚目かを表示 1 枚目：着信して約 2 秒後の画像 2 ～ 4 枚目：1 枚目を録画後、約 3 秒おきの画像

■ カメラ画像の再生画面

お知らせ

●「 4枚で 1 セット 」の画像で 4 枚録画できなかったとき

 を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示し、次の画像を表示します。

再生する（つづき）

画像を保護する

消去したくない画像を最大 20 枚まで保護できます。

1 画像再生中に、
D（保護設定）を押す

● 保護解除するには
➔ D（保護解除）を押す
（O┳ が消える）

2 終わったら、
切 を押す

お知らせ

● 「4 枚で 1 セット」の画像は、そのうちの 1 枚を保護設定すると 4 枚すべてが保護されます。ただし、保護した枚数は 1 枚分になります。
● **「保護設定できません」と表示されたとき**
➔ すでに 20 枚保護設定されています。
別の画像の保護を解除してから
保護設定してください。

画像を消去する

不要な画像を消去できます。

1 画像再生中に、
内線（クリアー）を押す

2 F1（はい）を押す
● 画像が消え、次の画像が表示される

3 終わったら、
切 を押す

お知らせ

● **「連続画像あり 消去しますか」と表示されたとき**
➔ 「4 枚で 1 セット」の画像です。
消去すると、4 枚とも消えます。

ドアホン親機や別の子機と話す（ドアホン室内通話）

ドアホン親機、またはドアホン機能が使える別の子機と通話ができます。

● この操作では、電話(ファクス)親機や電話専用子機との通話はできません。
電話(ファクス)親機や電話専用子機と話すには(☞ 25 ページ)

子機から呼び出すとき

1 内線 を押し、D で［ドアホン室内呼］を選ぶ

内線/室内呼
電話内線
ドアホン室内呼

2 D（決定）を押す

ドアホン室内呼
親機呼出中

■ 子機が 2 台以上のとき
続けて、相手の室内番号を押す

- ドアホン親機 0
- 子機 1 ～ 4
- すべての子機とドアホン親機 ✱

ドアホン室内呼
室内番号?

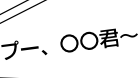
3 相手に呼びかけ、相手が出たら、
話す

4 終わったら、
切 **を押す**

子機で受けるとき

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、充電台から子機を取る、または
内線 **を押し、相手と話す**

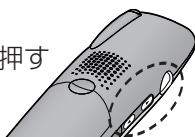
〈例：ドアホン親機からの呼び出し〉

2 終わったら、
切 **を押す**

お知らせ

● スピーカーホンでの通話はできません。
● 呼び出しを受ける場合、充電台に置いていないときは、F1、F2、切、D、側面の ▼ ▲ 以外のどのキーを押しても応答できます。(☞ 48 ページ「エニーキーアンサー」)
● **通話中に別の呼び出し(ドアホン、カメラ、外線)があると、それぞれの呼出音が聞こえます。**
呼び出しに応答するには：
① 切 を押してドアホン親機や子機との通話を終了する
② 呼び出しに応答する(ドアホン ☞ 8 ページ、カメラ ☞ 13 ページ、外線 ☞ 22 ページ)
● ドアホン親機のみに登録(増設)してご利用の場合：相手を呼び出すとき
① 内線 を押し、相手の室内番号を押す
② 相手が出たら、話す

電話をかける

ダイヤルしてかける以外に、再ダイヤル、電話帳を使ってもかけられます。

充電台から子機を取り、
外線 を押し、ダイヤルする

話す

終わったら、
切 を押し、充電台に戻す

通話中はこんなことができます

■ 受話音の大きさを変える
➔ 側面の 音量 ▲ または ▼ を押す

■ 相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）
➔ 側面の ボイスセレクト を押す（ ☞ 42 ページ）

■ 通話中に待ってもらう（保留）
➔ 保留 を押す

- ４秒ごとに「ピーッ」と鳴り、相手に
  メロディ「曲名：愛の挨拶」が流れる
- 通話に戻るには、外線 を押す

■ キャッチホンを受ける（NTT との契約が必要）
➔ キャッチ を押す

- 元の相手との通話に戻るには、
  再度 キャッチ を押す

お知らせ

● **構内交換機に接続しているとき**
➔ 外線発信番号のあとに F2（ポーズ）を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけるとき（** ☞ 32 ページ**）**

● **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき（トーン信号を送るとき）**
➔ 相手先につながったあとに ＊（トーン）を押してください。

● **通話中に別の呼び出しがあったとき（** ☞ 35 ～ 39 ページ**）**

通話時間表示について

表示はめやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

時間 0:00:30 ← 通話時間（めやす）

同じ相手にもう一度かける(再ダイヤル)

以前にかけた電話番号を、新しい順に 10 件まで記憶しています。

1 (再ダイヤル) を押す

2 で相手を選ぶ

3 外線 を押す

● 記憶している相手の番号は消去できます
➔ 手順 2 で相手を選び、

 内線/クリアー F1 (はい) 切 と押す

電話を切らずにかけ直す(かんたん再ダイヤル)

コンサートのチケット取りなどで相手につながりにくいとき、電話を切る操作を省いてかけ直せます。

1 相手にダイヤルする

2 相手につながらなかったら、電話を切らずに (再ダイヤル) を押す

● 自動的に電話を切ってかけ直す
● 相手につながらないとき
➔ 手順 2 を繰り返す

電話帳でかける

登録のしかた(☞ 28 ページ)

1 (電話帳) を押す

● ア～ワの行別に相手を探すとき
➔ 続けて、◀D▶ で行を選ぶ
● 名前の頭文字で相手を探すとき
➔ 続けて、0 ～ 9 で名前(フリガナ)の頭文字を入力する
● グループ別に相手を探すとき
➔ 続けて、# を押し、グループ番号(1 ～ 9)を押す

2 で相手を選ぶ

3 外線 を押す

「選んでケータイ」を使う

「選んでケータイ」とは固定電話発 携帯電話着の通話サービスです。
電話(ファクス)親機で「00XX」などの固定電話会社の事業者識別番号を登録しておけば、子機で携帯電話にダイヤルするときも、自動的に「00XX」を付けることができます。

● サービスの概要や設定について詳しくは電話(ファクス)親機の取扱説明書をお読みください。

スピーカーホンの使いかた

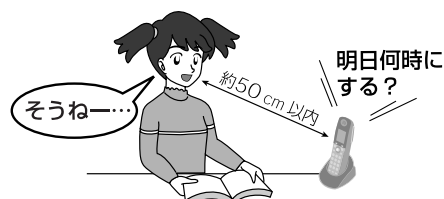
子機を置いたまま相手と話すことができます。
相手の声はスピーカーから聞こえます。
話すときは、送話口に向かって話します。

● スピーカーホンにするには ➔ スピーカーホン を押す
(もう一度 スピーカーホン を押すと、受話口での通話になります)

● 天気予報など相手の声を聞くだけの場合に、声が途切れるときは(ミュート)
➔ ボイスチェンジ を約 2 秒間押す
(もう一度 ボイスチェンジ を押すと、解除します)

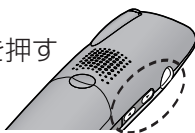
● スピーカーホンは、お互いに周りを静かにしてお使いください。(周りの音により、通話が途切れたり、通話できないことがあります)

電話/留守番電話

電話をかける

電話を受ける

呼出音の種類 (ベル / メロディ) や大きさは、あらかじめ変えておくことができます。
(☞ 43、44 ページ)

1 充電台から子機を取る、または
外線 を押し、話す

2 終わったら、
切 を押し、充電台に戻す

通話中はこんなことができます

■ **受話音の大きさを変える**

➔ 側面の 音量 ▲ または ▼ を押す

■ **相手の声の音質を変える(ボイスセレクト)**

➔ 側面の ボイスセレクト を押す(☞ 42 ページ)

■ **通話中に待ってもらう (保留)**

➔ 保留 を押す

- 4秒ごとに「ピーッ」と鳴り、相手にメロディ「曲名：愛の挨拶」が流れる
- 通話に戻るには、外線 を押す

■ **自分の声を変える(ボイスチェンジ)**

➔ ボイスチェンジ を押す(☞ 42 ページ)

■ **キャッチホンを受ける (NTT との契約が必要)**

➔ キャッチ を押す

- 元の相手との通話に戻るには、再度 キャッチ を押す

お知らせ

● F1、F2、切、D、側面の ▼ ▲ 以外のどのキーを押しても電話を受けられます。
(**☞ 48 ページ「 エニーキーアンサー 」****)**

● **通話中に別の呼び出しがあったとき(** **☞ 35 〜 39 ページ****)**

● ご使用の親機がファクス親機(KX-PW503 など)の場合

・電話に出ても「ポーポー音」や無音のときは、ファクスが送られてきています。(☞ 40 ページ)

・ファクス親機がプリント中は、子機では電話に出られません。

電話をまわす

電話(ファクス)親機、または電話機能が使える別の子機との間で、電話をまわせます。
● ドアホン親機やドアホン専用子機に、電話をまわすことはできません。

子機からまわすとき

1 外の相手と通話中に、
(内線) を押す

外線保留中
親機呼出中

■ 子機が 2 台以上のとき
続けて、まわす相手の内線番号を押す

電話内線
内線番号?

- 電話(ファクス)親機 (0)
- 子機 (1)～(4)((1)～(6)※)
- すべての子機と電話(ファクス)親機 (＊)

※ ご使用の親機に子機が 6 台まで登録できるとき

● 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる((外線) 点滅)

2 相手が出たら、
電話をまわすことを伝え、
(切) を押す

● まわした相手との通話が切れ、まわした相手が外の相手と通話できる((外線) 消灯)

子機で受けるとき

1 下記の呼出音が聞こえたら、
充電台から子機を取る、または
(内線) を押し、相手と話す

〈電話(ファクス)親機からの呼び出し〉

外線保留中
親機着信中

〈子機からの呼び出し〉

外線保留中
子機3着信中
子供部屋

呼び出してきた子機の名前
(登録している場合のみ：☞ 46 ページ)

● 室内の相手が通話を切ると、外の相手と通話ができる

2 外の相手と話す

3 終わったら、
(切) を押す

お知らせ

● まわした相手が出ないときや、まわした相手と通話中に、外の相手との通話に戻るには
➔ (外線) を押す
● **まわす相手が近くにいるときは、下記の手順でも電話をまわせます。**
① 外の相手と通話中に、(保留) を押す
② まわす相手に声で呼びかけ、電話をまわすことを伝える
➔ 相手が電話に出ると保留が解除され、外の相手と通話できる
● ご使用の電話(ファクス)親機に「簡単取り次ぎ」機能がある場合(例：KX-PW503)
親機で「簡単取り次ぎ」設定をしておくと、子機でも簡単に電話をまわせます。
機能の詳細・設定・操作は電話(ファクス)親機の取扱説明書をお読みください。

子機・電話(ファクス)親機・外の相手の 3人で話す(3者通話)

外の相手と通話中に、電話(ファクス)親機を呼び出すと、3人で同時に話せます。

- ドアホン親機やドアホン専用子機と、3者通話はできません。
- 電話親機(VE-GP05など)をご使用の場合は、電話機能が使える別の子機を呼び出して、子機・子機・外の相手の3者通話ができます。(ファクス親機の場合はできません)

1 外の相手と通話中に、

(内線)を押す

■ **子機が2台以上のとき**
続けて、相手の内線番号を押す

➔ 電話親機をご使用の場合

- 電話親機 (0)
- 子機 (1)～(4)((1)～(6)※)
- すべての子機と電話親機 (＊)

※ご使用の親機に子機が6台まで登録できるとき

➔ ファクス親機をご使用の場合

- ファクス親機 (0)

● 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる((外線)点滅)

2 相手が出たら、

3人で話すことを伝える

3

(保留)を押し、3人で話す

3者通話中

● (外線)点灯

お知らせ

- 3者通話中は、スピーカーホンは使えません。
- ご使用の電話(ファクス)親機に「簡単取り次ぎ」機能がある場合(例:KX-PW503)親機で「簡単取り次ぎ」設定をしておくと、下記の手順でも3者通話ができます。
  ➔ 子機が通話中に、親機で受話器を取る
  機能の詳細・設定は電話(ファクス)親機の取扱説明書をお読みください。

電話(ファクス)親機や別の子機と話す（電話内線通話）

電話(ファクス)親機、または電話機能が使える別の子機と通話ができます。

● この操作では、ドアホン親機やドアホン専用子機との通話はできません。
ドアホン親機やドアホン専用の子機と話すには(☞ 19 ページ)

子機から呼び出すとき

1 内線 を押し、D で [電話内線] を選ぶ

2 D (決定) を押す

電話内線
親機呼出中

■ 子機が 2 台以上のとき
続けて、相手の内線番号を押す

電話内線
内線番号?

- 電話(ファクス)親機 0
- 子機　1 ～ 4 (1 ～ 6※)
- すべての子機と電話(ファクス)親機 ＊

※ ご使用の親機に子機が 6 台まで登録できるとき

3 相手が出たら、話す

4 終わったら、切 を押す

子機で受けるとき

1 下記の呼出音が聞こえたら、充電台から子機を取る、または 内線 を押し、相手と話す

〈電話(ファクス)親機からの呼び出し〉

〈子機からの呼び出し〉

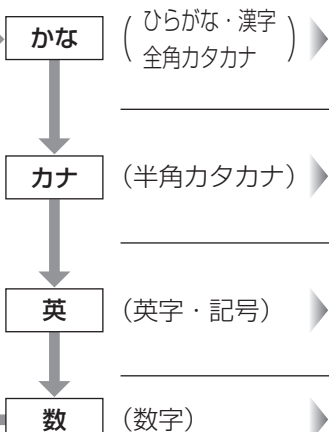
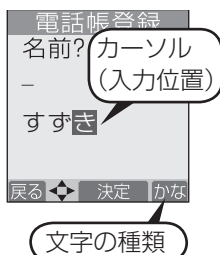
呼び出してきた子機の名前
(登録している場合のみ：☞ 46 ページ)

2 終わったら、切 を押す

お知らせ

- 通話料金は、かかりません。
- スピーカーホンでの通話はできません。
- 呼び出しを受ける場合、充電台に置いていないときは、F1、F2、切、D、側面の ▼ ▲ 以外のどのキーを押しても応答できます。(☞ 48 ページ「エニーキーアンサー」)
- **通話中に別の呼び出し(ドアホン、カメラ、外線)があると、それぞれの呼出音が聞こえます。**
  呼び出しに応答するには：
  ① 切 を押して通話を終了する
  ② 呼び出しに応答する(ドアホン ☞ 8 ページ、カメラ ☞ 13 ページ、外線 ☞ 22 ページ)
- 電話(ファクス)親機のみに登録(増設)してご利用の場合：内線電話のかけかた
  ① 内線 を押し、相手の内線番号を押す
  ② 相手が出たら、話す

文字入力のしかた

子機の名前（☞ 46 ページ）や電話帳（☞ 28 ページ）を登録するときなどに使います。

こんなときは

■ 同じボタンの文字を続けて入力する

（例：あい）

あ ➔ ① ➡ Ⓓ（カーソルを右へ） ➡ ① ① い

■ スペースを入れる

➔ 保留 を押す

■ カーソルを移動する

➔ ◀Ⓓ▶ を押す

■ 途中で入力をやめる

➔ 切 を押す

挿入・修正・消去するには

■ 挿入するには

➔ 挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■ 修正するには

➔ 修正する文字にカーソルを移動し、内線/クリアー を押して消し、入力し直す

■ 消去するには

➔ 消去する文字にカーソルを移動し、内線/クリアー を押す

■ すべて消去するには

➔ 文字の先頭にカーソルを移動し、内線/クリアー を約 2 秒間押す

■ ひらがなのとき

D（決定）を押す

名前?
_
すずき

名前?
すずき_

● 漢字に変換する前は6文字まで入力できる

● 決定された文字は上段へ移動する

■ 漢字・全角カタカナに変換するとき

D をくり返し押して選ぶ → D（決定）を押す

名前?
_
鈴木

反転表示は変換中を示す

名前?
鈴木_

● 決定された文字は上段へ移動する

■ 変換中に変換する文字の区切りを変えるには

1. 内線/クリアー で変換中の漢字をひらがなに戻す

2. ◀D▶ で変換する最後の文字にカーソルを移動し、D を押す

「ただ」の部分だけが変換される

名前?
_
ただのりこ

● 希望の漢字に変換できないとき

➔ 読みかた（音読み・訓読みなど）を変えて入力し、D を押す。

お知らせ

● 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。

● 希望の漢字に変換できないこともあります。

文字一覧表（文字リスト）

ボタン＼表示	かな	カナ	英	数
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@（アットマーク） .（ドット） _（アンダーバー） -（ハイフン） & $ ¥ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをんー（長音）！？（）	ワヲンー（長音）！？（）	！ ? / ー ＊ # , ; : ｜ ・ ’ ” () [] {} 〈〉 「」	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。		、 。	
保留	スペース			

● 最大入力文字数には、スペースも1文字分として含みます。

● 一覧表の文字とディスプレイに表示される文字の形は、異なることがあります。

電話帳に登録する

よくかける相手の名前と電話番号を、グループ 1 ～ 9 に分けて、**最大 150 件まで**登録できます。

- 電話(ファクス)親機の電話帳に登録した内容を、子機の電話帳に転送(コピー)できます。
  操作については、電話(ファクス)親機の取扱説明書をお読みください。
- 電話帳でかけるには(☞ 21 ページ)

1 (電話帳) **を押す**

電話帳検索
登録 100 件
空き 50 件

登録できる残りの件数

2 (登録) **を押す**

3 **で名前を入力する**

電話帳登録
名前?
鈴木_

(全角 10 文字 / 半角 20 文字まで)

- 文字入力のしかた(☞ 26 ページ)

4 (登録) **を押し、フリガナを確認する**

半角 12 文字まで

鈴木
フリガナ?
スズキ

- **修正や追加するとき**
  ➔ フリガナを修正する
  (修正のしかた ☞ 26 ページ)

5 (登録) **を押し、** **で市外局番から電話番号を入力する**(24 ケタまで)

鈴木
電話番号?
09876543‥

- まちがえたとき ➔ (内線/クリアー) を押す

6 (登録) **を押し、** **でグループ番号を入力する**(1 ～ 9)

グループ=1
[1-9]を
押して
ください

- 変更しない場合、グループ 1 に登録される

7 (登録) **を押す**

- 続けて登録するとき ➔ 再度手順 3 へ
- 終わったら、(切) を押す

こんなときは

- **スペースを入れる** ➔ (保留) を押す
- **途中でやめる** ➔ (切) を押す
- **電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」を入れる**
  ➔ 手順 4 の電話番号入力画面で、「184」や「186」を入力し、F2 (ポーズ) を押したあとに電話番号を入力する
  (ポーズは「P」と表示される)
  (ポーズを入れないと、誤発信することがあります)

- グループ１～９に分けて登録すると…
  - ・グループ別に電話帳を検索できます。（☞下記）
  - ・ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、グループ別に呼出音を変更できます。（☞34ページ）

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 （再ダイヤル）を押す

2 で相手を選ぶ

3 左ページの手順２からの操作をする
- 電話番号の入力は不要です

電話帳を検索する

1 （電話帳）を押す

- **ア～ワの行別に相手を探すとき**
  ➔ 続けて、で行を選ぶ
- **名前の頭文字で相手を探すとき**
  ➔ 続けて、0～9で名前(フリガナ)の頭文字を入力する
- **グループ別に相手を探すとき**
  ➔ 続けて、#を押し、グループ番号(1～9)を押す

2 で検索する

3 終わったら、切を押す

電話帳を修正する

1 （電話帳）を押す

2 で修正する相手を選び、（修正）を押す

3 左ページ手順３からの操作をする

電話帳を消去する

1 （電話帳）を押す

2 で消去する相手を選ぶ

3 内線/クリアーを押し、F1（はい）を押す
- 続けて消去するとき ➔ 再度手順２へ

4 終わったら、切を押す

- 電話帳は一度にすべて消去できます。（☞49ページ「電話帳全消去」）

お知らせ

- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)の４件が、あらかじめ登録されています。(修正・消去もできます)
- **ディスプレイに表示される順番**
  ➔ を押すと下記のフリガナ順で表示されます。
  数字→アルファベット→カナ→記号→電話番号(名前を登録していないとき)
  よくかける相手を先に表示させたいとき
  ➔ フリガナの前に数字をつけて登録すると(例：「001ナカムラ」「002イイヅカ」…)、数字の小さい順に表示されます。
- ご使用の親機がファクス親機(KX-PW503など)の場合、登録した内容をファクス親機でプリントすることができます。詳しくは、ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話帳を転送する

転送（コピー）すると、電話（ファクス）親機に同じ相手を登録する手間が省けて便利です。

● **転送するときは、子機を電話（ファクス）親機の近くに持ってきてください。**

● **子機が 2 台以上の場合でも、子機から子機への電話帳転送はできません。**

お知らせ

● 電話（ファクス）親機側の電話帳に登録可能な件数以上は、転送できません。
（例：VE-GP05 の場合、最大 20 件。KX-PW503 の場合、最大 150 件）

● カタカナ表示の電話（ファクス）親機に転送すると、子機の電話帳の「フリガナ」部分が電話（ファクス）親機の電話帳の「ナマエ」にカタカナで登録されます。

● 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は追加登録されません。

● 転送先に同じ名前があっても、電話番号やグループ番号が異なるときは追加登録されます。

● **一括して転送するとき** ➔ を押して表示される順番で転送されます。
➔ 転送先の電話帳の空き件数が 0 件になると、自動的に転送を終了します。
➔ 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

留守番電話を使う

子機の操作で、電話（ファクス）親機を留守セットしたり、電話（ファクス）親機に録音された留守番電話の用件を聞くことができます。

● 留守セットしても、ドアホンの留守録音はできません。

留守セットする

1 （留守）を押し、 で

[留守設定] を選ぶ

留守電操作
留守設定
留守解除/再生

2 D（決定）を押す

● 応答メッセージが流れ、留守番電話に設定される

● 留守セットしても、残っている用件は消えません

3 終わったら、

切 **を押す**

■ **留守番電話の応答中に電話に出るには**

➔ 充電台から子機を取る、

または 外線 を押す

（用件録音は途中で止まり１件分として残る）

用件を聞く

1 D（留守）を押し、 で

[留守解除 / 再生] を選ぶ

留守電操作
留守設定
留守解除/再生

2 D（決定）を押す

● 留守セットが解除され、新しく録音された件数・用件・曜日・時刻が再生される

● を押すと、受話口から聞こえる

3 終わったら、

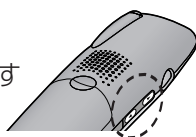
切 **を押す**

■ **あとからすべての用件を聞き直すには**

➔ D（留守）を押し、4 を押す

用件再生中はこんなことができます

■ **音の大きさを変える**

➔ 側面の 音量 ▲ または ▼ を押す

■ **再生をやめる**

➔ # を押す

• 再び再生するには、4 を押す

■ **次の用件に進んで再生する**

➔ 進む分だけ D➡ を押す

（例：２つ先 → ２回押す）

■ **前の用件に戻り、再生する**

➔ 戻る分だけ ⬅D を押す

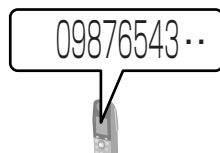
（例：２つ前 → ２回押す）

ナンバー・ディスプレイサービスを使う

契約や電話(ファクス)親機の設定などについては、電話(ファクス)親機の取扱説明書をお読みください。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用して電話を受けるとき

電話がかかってくると、

相手の電話番号が表示されます

■ **電話帳に登録した相手の場合**

➔ 名前も表示する

■ **相手の電話番号を表示できない場合** ➔ 状態に応じて、ディスプレイが下記の表示になる

子機ではこんなことができます

■ **着信メモリー**

かけてきた相手(留守番電話も含む)の電話番号を電話(ファクス)親機に記憶しています
子機でもその電話番号を見る／使うことができます(☞ 右ページ)

■ **外線着信鳴り分け**(☞ 34 ページ)

■ **その他、ご使用の電話(ファクス)親機によっては下記のこともできます**

(利用できる機能の詳細や設定は、電話(ファクス)親機の取扱説明書をお読みください)

- 指定呼出／迷惑電話着信拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否
- 非通知・公衆電話・表示圏外の電話を留守番電話で受ける

電話番号を通知して電話をかける

下記の 2 種類があります。

■ NTT に「通常通知(通話ごと非通知)」を申し込む

■ NTT に「通常非通知」を申し込んでいる場合

1 「186」をダイヤルする

2 F2 (ポーズ) を押したあと、相手先をダイヤルする

電話番号を通知せずに電話をかける

下記の 2 種類があります。

■ NTT に「通常非通知(回線ごと非通知)」を申し込む

■ NTT に「通常通知」を申し込んでいる場合

1 「184」をダイヤルする

2 F2 (ポーズ) を押したあと、相手先をダイヤルする

お知らせ

● 発信電話番号を通常通知・通常非通知のどちらにしているか確かめたいときや、発信者名の通知に関するお問い合わせは、NTT 窓口へ。(☞ 電話(ファクス)親機の取扱説明書)

かけてきた相手の電話番号を見る／使う（着信メモリー）

相手の電話番号と日付が電話（ファクス）親機のメモリーに記憶され、あとで見たり、電話をかけたりできます。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**

1

を押す

2 **を押す**

● 押すごとに新しいデータから表示される

電話に出なかったときに表示

3
■ **電話をかけるには** ➔ 外線 を押す
■ **終わるには** ➔ 切 を押す

● 検索がすべて終わっていなくても「＊」が消える

こんなこともできます

■ **電話帳に登録する**

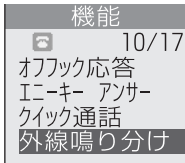
➔ 手順 2 で相手を選び、D（登録）を押し、28 ページ手順 3 へ

■ **着信メモリーをすべて消す**

➔ 保留（着信メモリー） 内線（クリアー） F1（はい）と押す

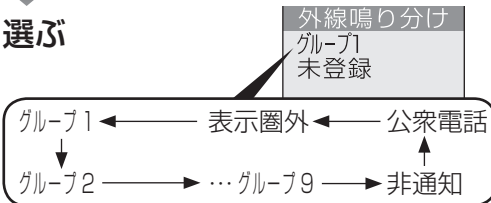
■ **選んだ相手だけ消す**

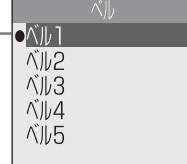
➔ 手順 2 で相手を選び、内線（クリアー） F1（はい）と押す

お知らせ

● 着信した日付・時刻は、電話（ファクス）親機に登録されている日付・時刻によって記憶されます。

● 着信メモリーの件数は、電話（ファクス）親機によって異なります。
（例：VE-GP05 の場合、最大 10 件。KX-PW503 の場合最大 30 件）

相手によって呼出音を変える（外線着信鳴り分け）

電話帳に登録したグループ(1 ～ 9)・非通知・表示圏外(表示できない相手)からの電話の呼出音を、それぞれ変えることができます。

- **ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**
- あらかじめ、電話帳の電話番号をグループに分けて登録してください。（☞ 28 ページ）

1 D（機能）を押し、D で[外線鳴り分け]を選ぶ

機能
10/17
オフフック応答
エニーキー アンサー
クイック通話
外線鳴り分け

2 D（決定）を押す

3 D で鳴り分けするグループを選ぶ

外線鳴り分け
グループ1
未登録

グループ1 → グループ2 → … グループ9 → 非通知 → 公衆電話 → 表示圏外 → グループ1

4 D（変更）を押し、

で[ベル]または[メロディ]を選ぶ

グループ1
●登録しない
メロディ
ベル

5 D（決定）を押し、D で音を選ぶ

（例：ベルのとき）

現在の設定値 ― ●ベル1
ベル
ベル2
ベル3
ベル4
ベル5

- **選んだベルやメロディが流れる**

6 D（決定）を押す

- 「ピー」と鳴り、手順 3 の画面を表示する
- **続けて登録するとき**
  ➔ **再度手順 3 へ**

7 終わったら、切 を押す

■ **鳴り分けを解除するには**
➔ 手順 4 で「登録しない」を選ぶ
（44 ページで選んだ呼出音の設定に戻る）

お知らせ

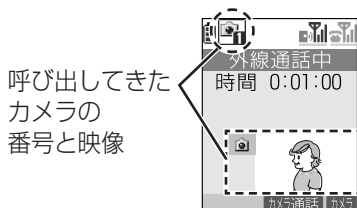
- キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってきた電話番号を表示しますが、鳴り分けははたらきません。

通話中やモニター中に 別の呼び出しに応答する

下記のように、呼出音や画面表示でどこからの呼び出しなのかをお知らせします。

呼出音や画面表示		応答するには
外から電話がかかってくると 詳しくは ☞ 37 ページ	「**プルルルルルルル**」と電話の呼出音（「ベル 1」固定）が聞こえる 例）ドアホン通話中の場合 通話中のドアホンの映像	**1** （外線） を押す ● 外線との通話に切り替わる **2** 終わったら、 を押す
ドアホンから呼び出しがあると 詳しくは ☞ 38 ページ	「**ピーンポーン**」とドアホンの呼出音（☞ 45 ページ）が聞こえる 例）外線通話中の場合 呼び出してきたドアホンの番号と映像	**1** （ドアホン） を押す ● ドアホンからの映像に切り替わり、周囲の音が聞こえる（こちらの声は相手に聞こえません） ● 外線通話中は、通話が保留になります（外線 が点滅） ■ドアホン側の相手と話すには ➔ （ドアホン通話）を押す **2** 終わったら、 を押す ● 保留にしていた外線通話に戻るには、（外線） を押す

通話中やモニター中に別の呼び出しに応答する（つづき）

呼出音や画面表示		応答するには
カメラ（別売）から呼び出しがあると 詳しくは ☞ 39 ページ	「**ピポッ**」とカメラの呼出音（☞ 45 ページ）が聞こえる 例）外線通話中の場合 呼び出してきたカメラの番号と映像 例）ドアホン通話中の場合 呼び出してきたカメラの番号 通話中のドアホンの映像 	**1** F2（カメラ）を押す ● カメラからの映像に切り替わり、周囲の音が聞こえる（こちらの声は相手に聞こえません） ● 外線通話中は、通話が保留になります（外線 が点滅） **■カメラ側の相手と話すには** ➔ D（カメラ通話）を押す **2** 終わったら、切 を押す ● 保留にしていた外線通話に戻るには、外線 を押す
外線通話中、電話内線通話中に**ドアホン親機や別の子機から呼び出しがあると** **（ドアホン室内通話）**	「**プーッ**」とドアホン室内呼の呼出音（固定）が聞こえる ● 画面に変化はありません	**1** 切 を押す ● **ただし、外線通話も切れます** **2** 内線 を押す ● ドアホン室内通話に切り替わる **3** 終わったら、切 を押す ■ 応答しない場合は、約 30 秒で呼出音が鳴り止みます
ドアホン・カメラ通話（モニター）中、ドアホン室内通話中に**電話（ファクス）親機や別の子機から呼び出しがあると** **（電話内線通話）**	「**プルルプルル…**」や「**プルプルプル…**」と電話内線の呼出音（固定）が聞こえる ● 画面に変化はありません	**1** 切 を押す **2** 内線 を押す ● 電話内線通話に切り替わる **3** 終わったら、切 を押す

電話がかかってきたときの画面表示について

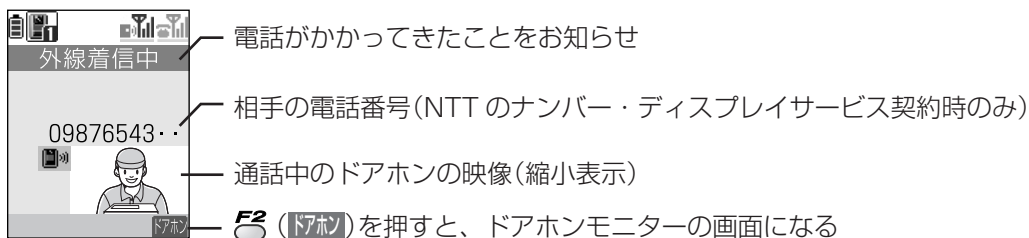
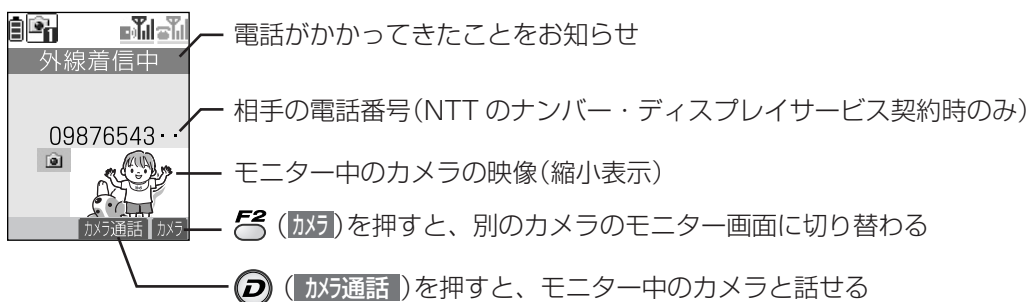
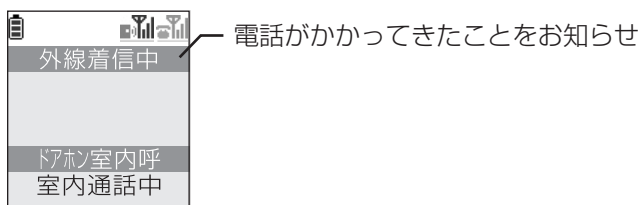
■ **ドアホンと通話中の場合**

- 電話がかかってきたことをお知らせ
- 相手の電話番号(NTT のナンバー・ディスプレイサービス契約時のみ)
- 通話中のドアホンの映像(縮小表示)
- F2 (ドアホン)を押すと、ドアホンモニターの画面になる

■ **カメラモニター中の場合**

- 電話がかかってきたことをお知らせ
- 相手の電話番号(NTT のナンバー・ディスプレイサービス契約時のみ)
- モニター中のカメラの映像(縮小表示)
- F2 (カメラ)を押すと、別のカメラのモニター画面に切り替わる
- D (カメラ通話)を押すと、モニター中のカメラと話せる

■ **ドアホン室内通話中の場合**

- 電話がかかってきたことをお知らせ

■ **電話内線通話中の場合**

画面表示に変化はありません。

■ **外線通話中の場合**

画面表示は変わりません。
NTT との「キャッチホンサービス」契約時は、キャッチホンの呼出音が聞こえます。

1 キャッチホンの呼出音が聞こえたら、キャッチ **を押す**

- 後からかかってきた相手との通話に切り替わり、元の相手との通話は保留になる
- 元の相手との通話に戻るには、もう一度 キャッチ を押す

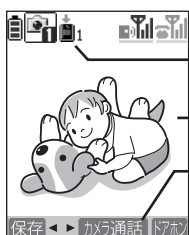
2 終わったら、 **を押す**

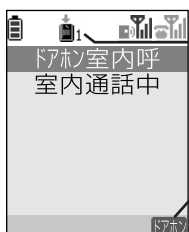
通話中やモニター中に別の呼び出しに応答する（つづき）

ドアホンから呼び出しがあったときの画面表示について

■ 別のドアホン（別売）と通話中の場合

- 呼び出してきたドアホンの番号（例：ドアホン１）
- 通話中のドアホンの映像
- F2（ドアホン）を押すと、呼び出してきたドアホンのモニター画面に切り替わる

■ カメラモニター中の場合

- 呼び出してきたドアホンの番号（例：ドアホン１）
- モニター中のカメラの映像
- D（カメラ通話）を押すと、モニター中のカメラと話せる
- F2（ドアホン）を押すと、呼び出してきたドアホンのモニター画面に切り替わる

■ ドアホン室内通話中の場合

- 呼び出してきたドアホンの番号（例：ドアホン１）
- F2（ドアホン）を押すと、呼び出してきたドアホンのモニター画面に切り替わる

■ 電話内線通話中の場合

- 呼び出してきたドアホンの番号（例：ドアホン１）
- 呼び出してきたドアホンの映像（縮小表示）
- D（ドアホン通話）を押すと、呼び出してきた相手と話せる
- F2（ドアホン）を押すと、呼び出してきたドアホンのモニター画面に切り替わる

■ 外線通話中の場合

- 呼び出してきたドアホンの番号（例：ドアホン１）
- 呼び出してきたドアホンの映像（縮小表示）
- D（ドアホン通話）を押すと、外線が保留になり、呼び出してきた相手と話せる
- F2（ドアホン）を押すと、外線が保留になり、呼び出してきたドアホンのモニター画面に切り替わる

カメラ(別売)が反応したときの画面表示について

■ ドアホンと通話中の場合

反応したカメラの番号(例：カメラ1)

通話中のドアホンの映像

F2 (カメラ)を押すと、反応したカメラのモニター画面に切り替わる

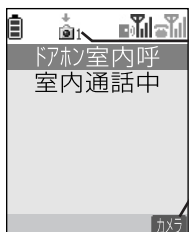
■ 別のカメラでモニター中の場合

反応したカメラの番号(例：カメラ1)

モニター中の別のカメラの映像

D (カメラ通話)を押すと、モニター中のカメラと話せる

F2 (カメラ)を押すと、反応したカメラのモニター画面に切り替わる

■ ドアホン室内通話中の場合

反応したカメラの番号(例：カメラ1)

F2 (カメラ)を押すと、反応したカメラのモニター画面に切り替わる

■ 電話内線通話中の場合

反応したカメラの番号(例：カメラ1)

反応したカメラの映像(縮小表示)

D (カメラ通話)を押すと、カメラ側の相手と話せる

F2 (カメラ)を押すと、反応したカメラのモニター画面に切り替わる

■ 外線通話中の場合

反応したカメラの番号(例：カメラ1)

反応したカメラの映像(縮小表示)

D (カメラ通話)を押すと、外線が保留になり、カメラ側の相手と話せる

F2 (カメラ)を押すと、外線が保留になり、反応したカメラのモニター画面に切り替わる

こんなとき

ファクスを受ける

ご使用の親機がファクス親機(KX-PW503 など)の場合は、子機でファクスの受信操作ができます。

● ご使用の親機が電話親機(VE-GP05 など)の場合は、この機能は使えません。

1 呼出音が鳴ったら、

充電台から子機を取る、または 外線 を押す

2 相手がファクスを送ると言ったとき、
または「ポーポー」音や無音のとき、

「ピッ」と鳴るまで F1 (ファクス) を押し、充電台に戻す

● ファクス親機で受信を開始する

お知らせ

● **外線通話中に、キャッチホンでファクスが来たとき**

➔ ファクスを受けるには、「ピッ」と鳴るまで F1 (ファクス) を押す(元の相手との通話は切れる)

➔ ファクスを受けずに元の相手との通話に戻るには、キャッチ を押す

Fボタンの機能を使うとき（電気錠 / 機器 / 文字表示）

ドアホン親機の機能設定で、Fボタンに「電気錠」「機器」「文字表示」のいずれかの機能を登録しているときは、下記のように操作できます。

● Fボタンに登録できる機能の詳細や登録のしかたは、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

「電気錠」や「機器」を登録しているとき

下記の操作で、電気錠の施錠 / 解錠、または機器の ON/OFF ができます。

1 待ち受け中、ドアホン通話(モニター)中、カメラ通話(モニター)中に、

F(キャッチ) を押す

● 現在の状態に応じて、右記のような画面が表示される

● 電気錠が施錠、または機器が ON の状態のときは F が表示される

（例：電気錠）

2 F1（はい）を押す

お知らせ

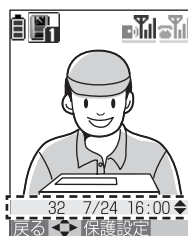
● 待ち受け中、ドアホン通話(モニター)中、カメラ通話(モニター)中以外では、電気錠や機器の操作はできません。

「文字表示」を登録しているとき

画像再生時に画面の下部に表示される、録画日時欄の表示 / 非表示ができます。

1 画像再生中に、

F(キャッチ) を押す

● 押すごとに表示 / 非表示する

（表示）　（非表示）

自分の声を変える（ボイスチェンジ）

女性などの高い声を男性のような低い声に変えられるので、しつこいセールスやいたずらへの応対などに便利です。

● ドアホン通話、カメラ通話、外線通話(かかってきた電話のみ)で、使えます。

1 通話中に、ボイスチェンジ を押す

● 画面に VC が表示され、相手に聞こえる声が低くなる

（再度押すと消え、元の声に戻る）

お知らせ

● 通話が終わると解除されます。

● 声の高さは２段階で、設定により変更できます。（ ☞ 48 ページ）

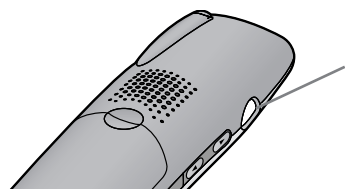
● **下記の場合は、ボイスチェンジがはたらきません。**

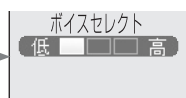
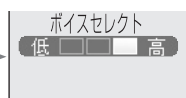
- 電話をかけたとき
- 電話をかけて通話中に、キャッチホンを受けたとき
- 並列電話機で受けた電話に子機で出たとき
- ドアホン室内通話中（ ☞ 19 ページ）

● ボイスチェンジを使っていないときに、ボイスチェンジ を約２秒間押すと、相手にこちらの声が聞こえなくなります。（ミュート ☞ 21 ページ）
再度押すと、ミュートは解除されます。

相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）

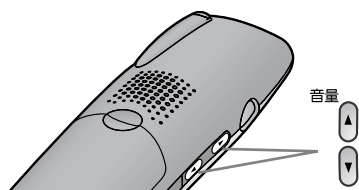
相手の声が聞き取りにくいときなど、受話音質を変えることができます。（3 段階）

● 外線通話中、3 者通話中にのみ使えます。（スピーカーホン通話を除く）

1 外線通話中に、ボイスセレクト を押す

● 押すごとに切り替わる

お知らせ

● 一度設定すると、次に設定するまで音質は変わりません。

音の大きさを変える（呼出音量 / 受話音量 / スピーカー音量）

側面の音量ボタンを押すことで、呼出音や受話音、
スピーカー音の大きさを変えられます。

呼出音量

電話（内線含む）、ドアホン、カメラ（別売）からの呼出音量をそれぞれ変更できます。
（３段階、および呼出音「切」）

1 待ち受け中に、音量▲ または ▼ を押す

2 ◀Ⓓ▶ で変更したい機器のマークを選び、
音量▲ または ▼ で音量を変更する

音量▲ 押すごとに**大きくなる**
▼ 押すごとに**小さくなる**※

※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、
呼出音「切」になる

■「切」を解除するには
➔ 音量▲ を押す

3 終わったら、切 を押す

お知らせ

- 電話、ドアホン、カメラからの着信中は、音量▲ または ▼ を押すだけで、それぞれの呼出音量を変更できます。
- 電話（ファクス）親機からの呼び出しなど、電話内線通話の呼出音は、設定を「切」にしても最小の音で鳴ります。
- ドアホン親機からの呼び出しなど、ドアホン室内通話の呼出音は、下記のスピーカー音量で設定した大きさで鳴ります。

受話音量

受話口から聞こえる通話中の音量を変更できます。
（3 段階）

1 通話中に、
音量▲ または ▼ を押す

スピーカー音量

スピーカーから聞こえる音量を変更できます。
（2 段階）

1 スピーカーから音が聞こえているときに、
音量▲ または ▼ を押す

呼出音を変える

外線の呼出音

電話がかかってきたとき(外線)の呼出音を変更できます。
● 電話(ファクス)親機からの呼び出しなど、電話内線通話の呼出音は変えられません。

1 D(機能)を押し、D で[呼出音]を選ぶ

機能
3/17
操作ガイド
子機の名前
呼出音
キー確認音

2 D(決定)を押し、D で[外線]を選ぶ

3 D(決定)を押す

4 D(変更)を押し、D で[ベル]または[メロディ]を選ぶ

外線呼出音
メロディ
●ベル

5 D(決定)を押し、D で音を選ぶ

現在の設定値

ベル
●ベル1
ベル2
ベル3
ベル4
ベル5

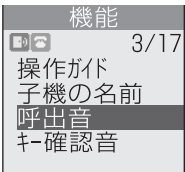
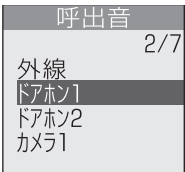
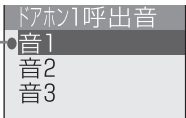
● 選んだベルやメロディが流れる

6 D(決定)を押す

● 「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示する

7 終わったら、切 を押す

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定:「ベル1」

種類	画面表示	内容
ベル	ベル1～ベル5	5種類のベルがあります
メロディ	JUPITER	JUPITER
	ヴァルキューレ	ヴァルキューレの騎行
	CANTATA	CANTATA(主よ、人の望みの喜びよ)
	クルミ割り人形	くるみ割り人形

ドアホンやカメラ(別売)の呼出音

ドアホンやカメラからの呼出音を変更できます。

1 (機能)を押し、 で
[呼出音]を選ぶ

2 (決定)を押し、 で
呼出音を変えたいドアホンやカメラを選ぶ

3 (決定)を押し、 で
音を選ぶ

現在の設定値
ドアホン1呼出音
音1
音2
音3

● 選んだ音が流れる

4 (決定)を押す

●「ピー」と鳴り、手順 2 の画面を表示する

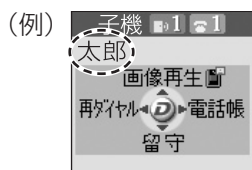
5 終わったら、
切 を押す

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン 1「音 1」、ドアホン 2「音 2」、カメラ 1 ～ 4「音 A」

ドアホンの呼出音		カメラの呼出音	
音 1	ピーンポーン	音 A	ピポッ
音 2	プルルルルル…	音 B	ポポポポポポ…
音 3	ピンポーンピンポーン	音 C	ポーンポーン
―	―	音 D	ピーンポーン

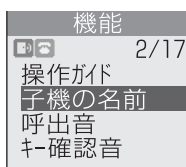
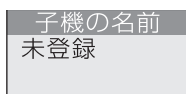
子機に名前をつける

登録すると、待ち受け画面に名前を表示します。

（例）
1

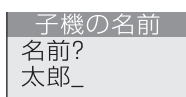
D（機能）を押し、Dで
[子機の名前]を選ぶ

2

D（決定）を押す

子機の名前
未登録

3

D（変更）を押し、
名前を入力する
（全角 6 文字／半角 12 文字まで）

子機の名前
名前?
太郎_

- 文字入力のしかた（☞ 26 ページ）
- まちがえたとき ➔ 内線/クリアー を押す

4

D（登録）を押し、
フリガナを確認する

- 修正や追加するとき
  ➔ フリガナを修正する
- 修正のしかた（☞ 26 ページ）

5

D（登録）を押す

- 「ピー」と鳴り、登録した名前を表示する

6

終わったら、
切 を押す

お知らせ

- 電話内線（☞ 25 ページ）で電話（ファクス）親機や別の子機を呼び出すと、受ける側のディスプレイに名前を表示します。
  - 受ける側が漢字を表示できない場合、登録したフリガナを表示します。

例）
電話内線
子機1着信中
太郎

プルプルプル
プルプルプル…

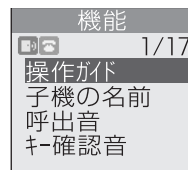
- ドアホン室内呼（☞ 19 ページ）でドアホン親機や別の子機を呼び出したときは、受ける側のディスプレイに名前は表示されません。

機能を変える（機能設定一覧表）

使いかたに合わせて、「子機」の機能（☞48、49 ページ）を変更・設定できます。

● 設定中に着信があったときや、約 60 秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

設定のしかた

1 （機能）を押す

2 で設定を変えたい機能を選び、（決定）を押す

3 で設定内容を選び、（決定）を押す

● 変更する機能によっては、画面の表示に従ってこの操作を繰り返す

4 終わったら、

 を押す

機能を変える(機能設定一覧表)(つづき)

子機の機能

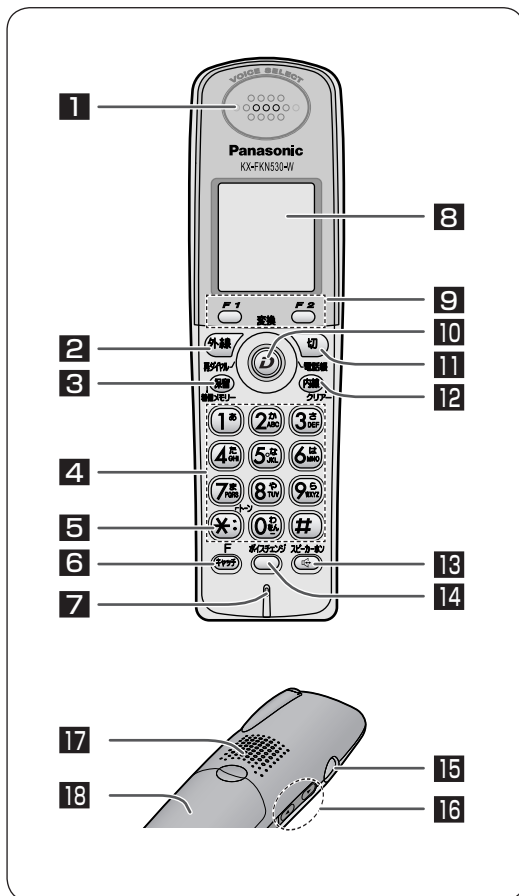
[ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能		機能の概要と設定内容
共通(電話・ドアホン・カメラ)	操作ガイド	子機の操作ガイドを表示する
	子機の名前	子機に名前をつける(☞ 46 ページ)
	呼出音	子機の呼出音を選ぶ(☞ 44、45 ページ) ● 外線、ドアホン、カメラ(別売)からの呼出音をそれぞれ設定できる
	キー確認音	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ [ON](出す)、OFF (出さない)
	ボイスチェンジ	ボイスチェンジ(☞ 42 ページ)の声の高さを選ぶ [通常]、低め
	コントラスト	子機のモニター画面の表示が見えにくいとき、コントラスト(表示濃度)を5段階で調整する (濃い) お買い上げ時の設定 → (中央) (薄い)
電話	オフフック応答	[ON]、OFF ON: 外線や電話内線の呼び出しのとき、充電台から子機を取るだけで応答できる OFF: 外線は 外線 、電話内線は 内線 を押して応答する ●「ON」の場合は、ドアホン室内通話の応答時(☞ 19 ページ)にもこの機能がはたらく
	エニーキーアンサー	[ON]、OFF ON: 外線や電話内線の呼び出しのとき、下記以外のどのキーを押しても応答できる(F1、F2、切、D、音量▲▼では応答できない) OFF: 外線 または スピーカーホン (電話内線は 内線)を押して応答する ●「ON」の場合は、ドアホン室内通話の応答時(☞ 19 ページ)にもこの機能がはたらく
	クイック通話	ON、[OFF] ON: 充電台から子機を取るだけで、電話をかけることができる OFF: 外線 を押してかける

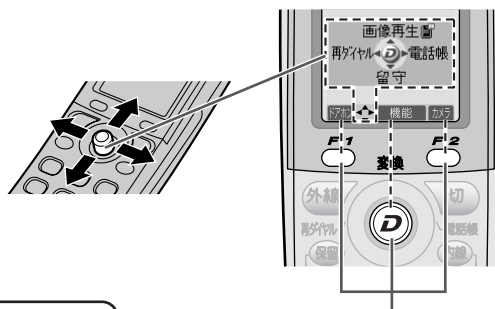
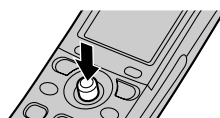
子機の機能（つづき）

機　能		機能の概要と設定内容
電話	**外線鳴り分け**	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音を変える（☞ 34 ページ） ● 電話帳のグループ（1 ～ 9）、非通知、公衆電話、表示圏外（表示できない相手）の電話ごとに設定できる
	電話帳転送	子機の電話帳の内容を電話（ファクス）親機に転送する（☞ 30 ページ）
	電話帳全消去	子機の電話帳の内容をすべて消去する
ドアホン	**録画日時表示**	画像再生時に表示される、録画日時の表示時間を選ぶ 常時、3 秒表示
	画像ガイド表示	ドアホン通話またはモニター中などに表示される、「明るさ」「拡大表示」などの操作ガイドを表示する（ON）か、しない（OFF）かを選ぶ ON、OFF ● 「ON」の場合も、ガイドを表示してから約 3 秒後、または何か操作を行うと消える
共通	**動作モード**	電話とドアホンの両方の機能を使う場合は「電話 / ドアホン」、電話専用機として使う場合は「電話」、ドアホン専用機として使う場合は「ドアホン」を選ぶ 電話 / ドアホン、電話、ドアホン
	子機増設	子機をドアホン親機や電話（ファクス）親機に登録する（☞ 共通編「子機増設」） ● KX-FKN530 を単品で購入の場合、ご使用前に増設が必要です
	設定の初期化	子機を廃棄・譲渡・返却するときなどに、子機のメモリーに記憶した情報をすべて消去する

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

1 Earpiece
2 Talk button & indicator
3 Hold/Caller ID button
4 Numeral/Character buttons
5 Tone button (To switch to DTMF tone)
6 Flash button/F button (To lock/unlock the door, and etc.)
7 Microphone
8 Liquid crystal display
9 Multi-operation buttons
10 Joystick
11 Off button
12 Intercom/Clear button
13 Speakerphone button & indicator
14 Voice change button
15 Voice select button
16 Volume control buttons
17 Speaker
18 Battery cover

■ Using the joystick, multi-operation buttons

The handset joystick can be used to navigate through menus and to select items shown on the display, by pushing it up, down, left, or right.

Press down on the center of the joystick in this case.

Press when you operate the soft key icon shown directly above it.

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

Door phone function

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press D (ドアホン通話) (10).

■ To monitor outside image

Press F1 (ドアホン) (9).

(To talk to the visitor, press D (ドアホン通話).)

■ To monitor a camera image

Press F2 (カメラ) (9).

(To talk to a person near the camera, press D (カメラ通話).)

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press F2 (カメラ).

(To talk to a person near the camera, press D (カメラ通話).)

■ To record the displayed image

Press F1 (保存) while 保存 is displayed.

■ To play back the recorded image

1 Press D (10).

2 Select a desired item using D.

3 Press D.

4 Press D to select a desired image.

Telephone function

■ To make a call

Lift the personal phone from the charger and press 外線 (2). ➔ Dial.......To end the call, place the personal phone on the charger or press 切 (11)

■ To receive a call

When the phone rings... ➔ Lift the personal phone from the charger or press 外線. ➔ Talk.......To end the call, place the personal phone on the charger or press 切.

■ To make a call using the speakerphone (Hands-free talk)

Press スピーカーホン (13). ➔ Dial. ➔ Talk to the microphone.......To end the call, place the personal phone on the charger or press 切.

■ To receive a call with the speakerphone (Hands-free talk)

When the phone rings... ➔ Press スピーカーホン. ➔ Talk to the microphone....... To end the call, press 切.

■ To place the current call on hold

Press 保留 (3) during a call.

■ To retrieve the held call

Press 外線 or 保留.

■ To transfer the held call to the base unit

Press 内線 (12) during a call. (➔ When you use multiple personal phones, press 0.)

➔ After the other party answers, place the personal phone on the charger, or press 切.

■ To transfer the held call to another personal phone

Press 内線 during a call. ➔ Press 1 ~ 4 (Intercom No.). ➔ After the other party answers, place the personal phone on the charger, or press 切.

さくいん

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

Panasonic® コードレスモニター子機 KX-FKN530 別冊 取扱説明書（子機操作編）

● 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー

〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2231YA SC0505MT1085